



第3回 福井空港ビル再整備構想検討委員会

令和6年10月22日

福井県

目次

議題1. 第2回委員会の振り返り

議題2. 他空港の事例

議題3. 敷地内の施設レイアウトについて

3.1. 現況施設の配置図

3.2. 施設レイアウトに対しての意見および対応方針

議題4. 空港ビルの機能について

4.1. 空港ビルの現在の施設状況

4.2. 空港ビルの例

4.3. 空港ビルに対しての意見および対応方針

4.4. 第2回ワークショップの結果（速報）

議題1

第2回委員会の振り返り

1

第2回委員会の振り返り

○第2回委員会での意見（1/3）

【敷地内の施設レイアウトについて】

- 課題および検討方針の全部を一度に整備するのは時間もかかるので、順次整備していくことも大事。また、全国の空港を見てきて新しいコンセプトなどを取り入れられるとよい。
- 福井空港は商業地が付近にあり、店舗がテナントとしてビルに入る方法だけでなく、周辺の店舗から持ち込んでもらう形などで来ていただくといった方法もある。
- 旅客のことなどを考えると駐車場をあまり減らすのは不安。今ある植え込みを平地化するなど、知恵を絞ってなるべく駐車場を減らさない方向で検討願いたい。
- エプロンは地上からみると広く見えるが、航空機から見ると意外に小さい。東日本大震災時の先行事例を参考に運用面を考えるとよい。

1

第2回委員会の振り返り

○第2回委員会での意見（2/3）

【空港ビルの機能について】

- 福井空港の特徴をいかに活かせるか、全国にないような機能を持たせるかが重要。日本海側から教育旅行の受け入れや、恐竜博物館に結びつけることができるのでは。ソフト面でのスペースも確保しつつ、航空事業者の可能性をリサーチすることも重要では。どのような機能、レイアウト、活用があるか、コスト面の限界も踏まえつつ、特徴を活かせるように知恵を絞ってほしい。50年に1度のことであり、県外の方の意見も聞きながら、可能性を広げて検討していただきたい。
- 福井空港の特徴はグライダーのメッカであること。なかなか活動がクローズアップされていないが、地域の子供たちのあこがれとなってきた。空を愛する子供たちを福井空港が育ててきたのは事実であり、これからも次の世代を育てる役割を担ってほしい。
- 今回整備した後は当分整備しないため、先を見据えてしっかり検討してほしい。パブリックスペースも今よりも広くする必要があるのでは。今の多目的ホールは柱もあって使い勝手が悪い。

1

第2回委員会の振り返り

○第2回委員会での意見（3/3）

【全 般】

- 将来像のロードマップはあるだろうが、ゴールに合わせるとよくないこともある。今のスケジュールにこだわらず、先進地も見て、しっかり検討の時間をとることが重要では。
- 新しいものをつくとわくわくして、あれもほしいこれもほしいとなりがち。何でもかんでも入れるのが良いのかという観点もあり、身の丈に合った整備をすべき。

議題2

他空港の事例

2

他空港の事例（空港の諸元）

空港名	所在	滑走路長	定期便 (国内線)	供用開始	現ビル 建築年	着陸回数 (国内線)	駐機 スポット数
岡南飛行場	岡山県小山市南区	1,200m	なし	S63.3.11	H16	4,954回	固定翼機45スポット 回転機 20スポット
天草空港	熊本県天草市	1,000m	往復5便/日	H12.3.23	H12	1,525回	コミューター機 2スポット (内1箇所を小型機3機 に割り振って使用)
県営名古屋空港	愛知県西春日井郡 豊山町	2,740m	往復24便/日	H17.2.17	H17	20,284回	コミューター機 28スポット 小型機 65スポット
熊本空港	熊本県上益城郡益 城町	3,000m	往復40便/日	S55.4.1	R3	21,278回	19スポット
なかしべつ 中標津空港	北海道標津郡中標 津町	2,000m	往復6便/日	H9.3.2	H9	1,646回	コミューター機 3スポット (内1箇所を小型機3機 に割り振って使用)
(参考)福井空港	福井県坂井市春江 町	1,200m	なし	S41.6.30	S41	3,488回	小型機11スポット

(出所) 数字で見る航空2023、HP

2

他空港の事例

	検討項目	他空港の事例	ポイント
岡南飛行場	エプロンの規模	<ul style="list-style-type: none"> ● 機体（ヘリ、固定翼機）で分かれたエプロンの利用 	機体毎にスポットを集約（エプロン3箇所）
	空港ビルの機能	<ul style="list-style-type: none"> ● ターミナルビルの管理棟単独で建替 ● 旧ビル入居者（県警、民間事業等）が各自で個別に事務所を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存エプロンが広いため、各自がエプロンに面して建物を設置可 ・ ビルに一般利用できる控室や会議室がない
		<ul style="list-style-type: none"> ● 消防車庫を個別に整備 	滑走路端部までの出動所要時間（規定）を満たす位置に整備
		<ul style="list-style-type: none"> ● 航空運送事業が操縦士訓練の教室（トレーニングセンター）を整備 	空港としての特徴、セールスポイント
天草空港	搭乗手続スペース（ロビー等）	<ul style="list-style-type: none"> ● 乗客数40人程度の手荷物の受け取りや搭乗時のセキュリティーチェック等を実施 	部屋が5m×8m程度の広さしかないため、40人程度の乗客でも手狭とのこと（もっと広い面積が必要）

2

他空港の事例

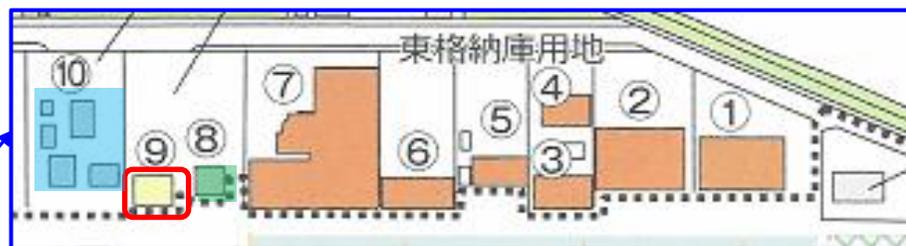
	検討項目	他空港の事例	ポイント
県営名古屋空港	待合室	● ビジネス機ターミナルの設置	プライベートジェットに対応した待合室
	飲食店	● 空港内に食堂（出発、到着ロビーの前）を設置	近くにショッピングモールもあり、一般の方の利用頻度が高くない（空港関係者の利用が主）
中標津空港	木造建築	● 建物が木造	構造そのものが木造
熊本空港		● 建物は鋼構造（内装で対応）	木材を内装等に使用

2

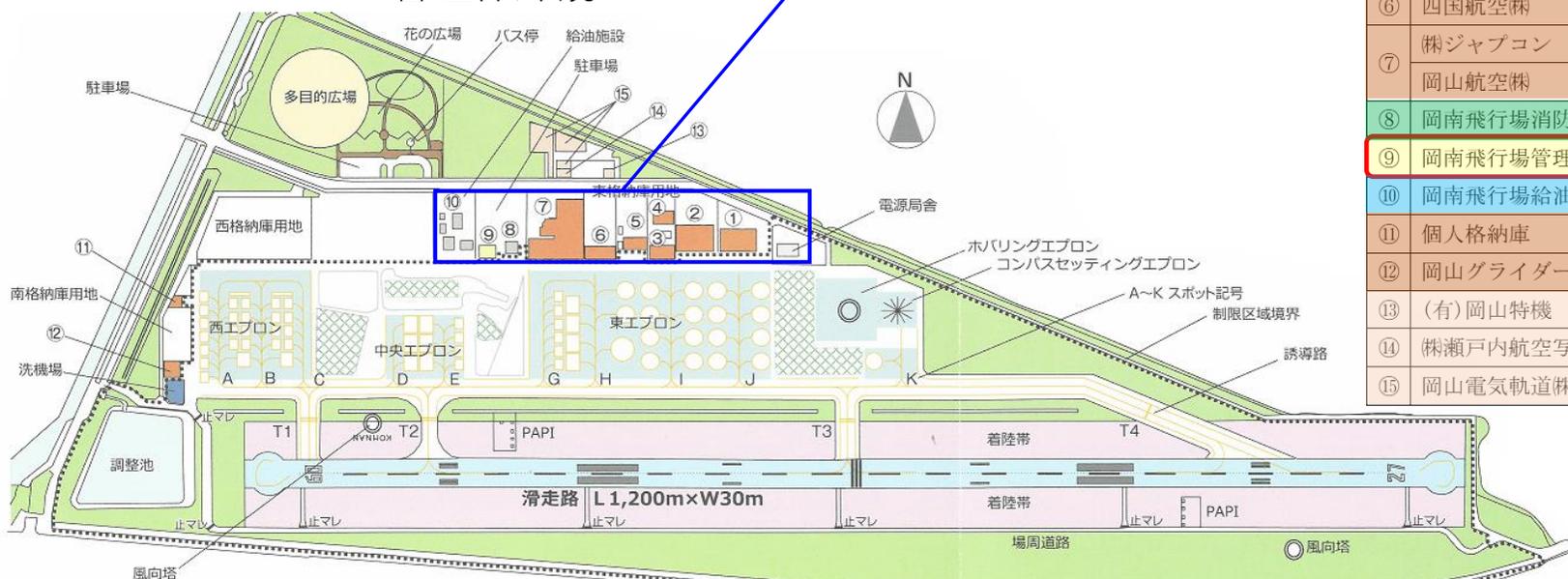
他空港の事例（岡南飛行場 管理機能に絞った事務所の例）



管理棟外観



①	岡山市消防航空隊	格納庫・事務所
②	岡山県警察航空隊	格納庫・事務所
③	岡山航空㈱	格納庫・事務所
④	岡山航空㈱	格納庫・事務所
⑤	匠航空㈱	格納庫・事務所
⑥	四国航空㈱	格納庫・事務所
⑦	㈱ジャプコン 岡山航空㈱	格納庫・事務所
⑧	岡南飛行場消防車庫	車庫
⑨	岡南飛行場管理事務所	管理事務所
⑩	岡南飛行場給油施設	タンク・車庫
⑪	個人格納庫	格納庫
⑫	岡山グライダークラブ	格納庫
⑬	(有)岡山特機	事務所
⑭	㈱瀬戸内航空写真	事務所
⑮	岡山電気軌道㈱	事務所・駐車場



2

他空港の事例（岡南飛行場 管理機能に絞った事務所の例）

管理機能に絞った最小限の事務所（民間の事業所は各々が別棟で整備）



1階ロビー



3階屋上展望エリア



1階管理事務カウンター



消防車庫（別棟）の1階会議室

2

他空港の事例（岡南飛行場 その他施設）

空港ビルを管理棟として最小限で整備しているため
航空隊や事業者は格納庫と事務所を整備。（消防車庫も別棟整備）



岡山市防災航空隊（格納庫兼事務所）



消防車庫（管理別棟）



岡山航空(株)（格納庫兼事業所）



岡山航空(株)（研修センター）

2

他空港の事例（天草空港 到着/出発ロビーの例）



到着ロビー（エプロン側入口）



空港内ロビー 熊本県HPより



到着ロビー内の状況



HP「そらマメさん道路局」より
(<https://soramameroad.hatenablog.jp/entry/2021/02/02/122007>)

出発ロビー（ビル内入口）

2

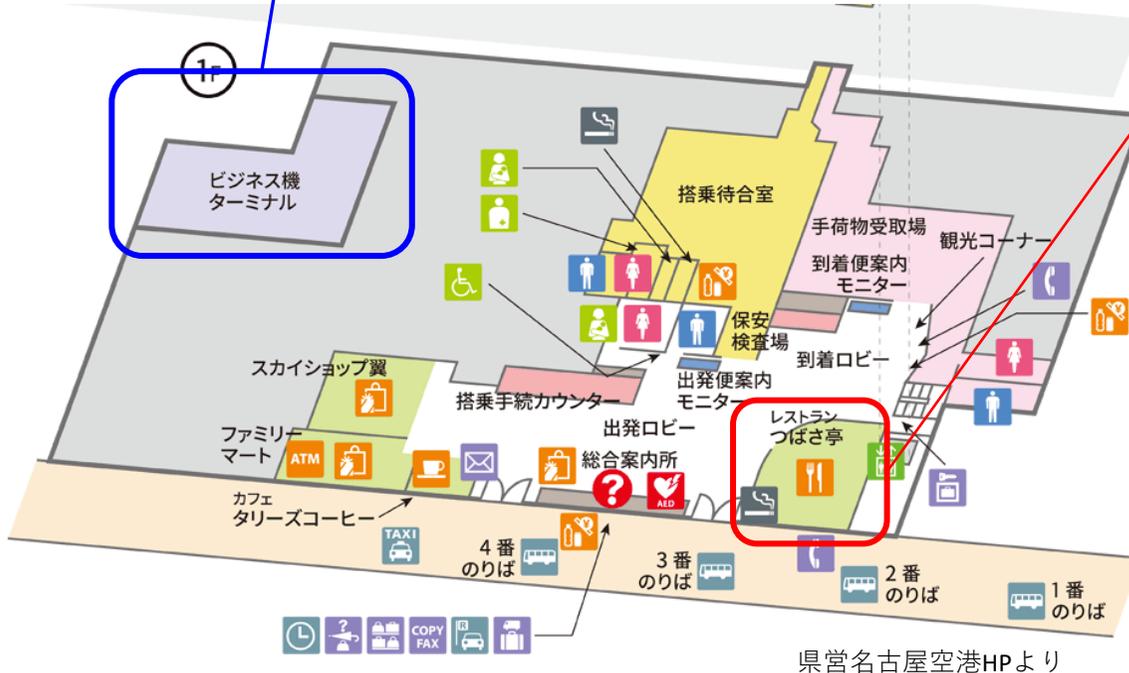
他空港の事例（県営名古屋空港 プラベートジェット待合室/空港内飲食店の例）



- ビジネス機ターミナル
プライベート機の搭乗手続、待合に対応



- 空港内に含まれる飲食店（内装）



2

他空港の事例（木材を活用した例）

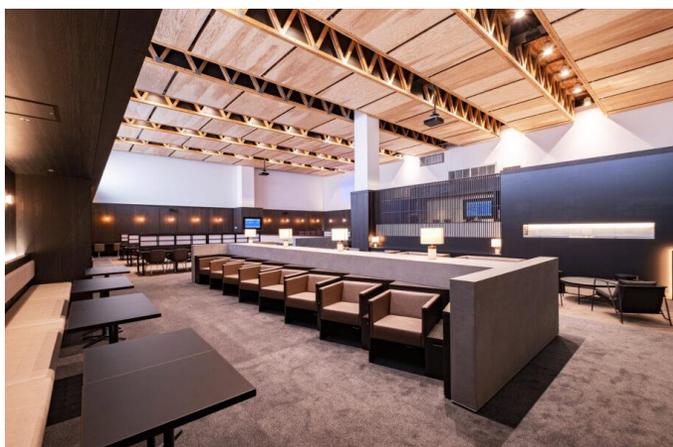


なかしべつ 中標津空港HPより
中標津空港（北海道）



中標津空港HPより

（構造：木造一部鉄筋）



阿蘇くまもと空港HPより

熊本空港（内装：県産木材、構造：鉄骨造）



阿蘇くまもと空港HPより

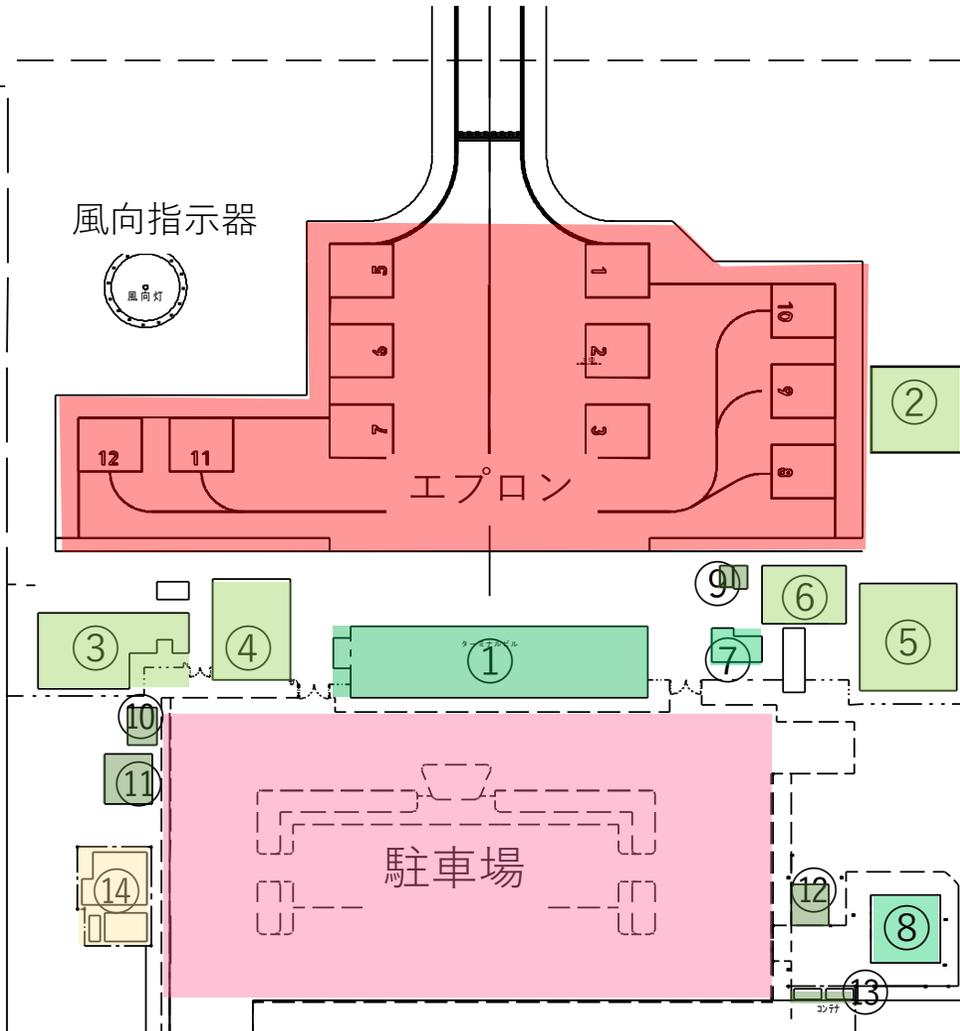
議題3

敷地内の施設レイアウトについて

3.1

現況施設の配置図

【現在の施設】



	施設名称	所有者	使用
①	空港ビル	福井空港(株)	
②	格納庫	福井空港(株)	民間貸与
③	庁舎・格納庫	福井県警察	県警ヘリ
④	格納庫	福井県（地域医療課）	ドクターヘリ
⑤	格納庫	福井県（危機対策・防災課）	防災ヘリ
⑥	格納庫	民間	民間
⑦	電気局舎	福井県（空港事務所）	
⑧	給油施設	福井県（空港事務所）	
⑨	車庫	民間	給油車両
⑩	車庫（倉庫）	福井県（空港事務所）	
⑪	倉庫	福井県（空港事務所）	
⑫	車庫	福井空港(株)	給油関係
⑬	倉庫（コンテナ）	福井県（地域医療課）	防災医療
⑭	宿舎・研修等	日本学生航空連盟	日本学生

3.2

施設レイアウトに対しての意見および対応方針 (1) 日常・観光利用

委員会、航空関係者等からの意見	検討項目	対応方針（案）
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>福井空港で離着陸可能な航空機でのチャーター便ができる</u>とよい。 	航空機利用促進	※現在のエプロンでも既存滑走路で離着陸できる航空機は対応可能
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>バス、タクシー等の駐車場が必要</u> ● <u>駐車場を過度に減らして欲しくない</u> ● <u>空港から目的地への移動について利便性が必要</u> ● <u>富裕層の誘客にはプライバシーを保てる待合室があるとよい</u> ● <u>パイロット(小型機など)が休む部屋があるとよい。</u> 	駐車場 送迎車両用通路 個別待合室	空港利用者の移動の利便性を向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>現駐車場を再配置し、</u> <u>駐車場スペース、必要台数を確保</u> ・ <u>エプロンでの送迎車両の横付けを従来通り継続</u> ・ <u>プライバシーを保てる待合スペースを検討</u>
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>小型ジェットの可能性を広げてほしい</u> ● <u>プライベートジェット利用や</u> <u>災害、積雪時の受入に対応できるように</u> <u>駐機場、格納庫があるとよい</u> 	格納庫	格納庫の確保について検討
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>小型固定翼機がヘリと混在しているため、</u> <u>離発着するヘリの風で悪影響あり</u> 	機材タイプ毎の エリア分け	<u>小型機とヘリの駐機エリアを分ける</u>
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>周辺からのアクセスや動線の検討が必要、</u> <u>入りづらい印象</u> 	空港へのアクセス	<u>道路からの視認性について検討</u>

3.2

施設レイアウトに対しての意見および対応方針 (2) 防災

委員会、関係機関等からの意見	検討項目	対応方針（案）
<ul style="list-style-type: none">● <u>エプロンが狭く、駐機スポットの数が不十分</u>● <u>ヘリの駐機スポットとしてはややサイズが小さい</u>● <u>小型ジェットの可能性を広げてほしい【再掲】</u>	エプロンの拡張 駐機スポット数・サイズ	<u>通常時および災害時に対応可能な駐機スポット数を最大限確保</u>
<ul style="list-style-type: none">● <u>防災ヘリの事務所と格納庫が離れている</u>● <u>防災ヘリと県警ヘリ・ドクターヘリの事務所相互も離れている</u>	防災関連ヘリの配置	<u>防災関係の格納庫、駐機場を利便性が向上するように配置を検討</u>
<ul style="list-style-type: none">● <u>小型固定翼機がヘリと混在しているため、離発着するヘリの風で悪影響あり【再掲】</u>	機材タイプ毎のエリア分け	<u>小型機とヘリの駐機エリアを分ける【再掲】</u>

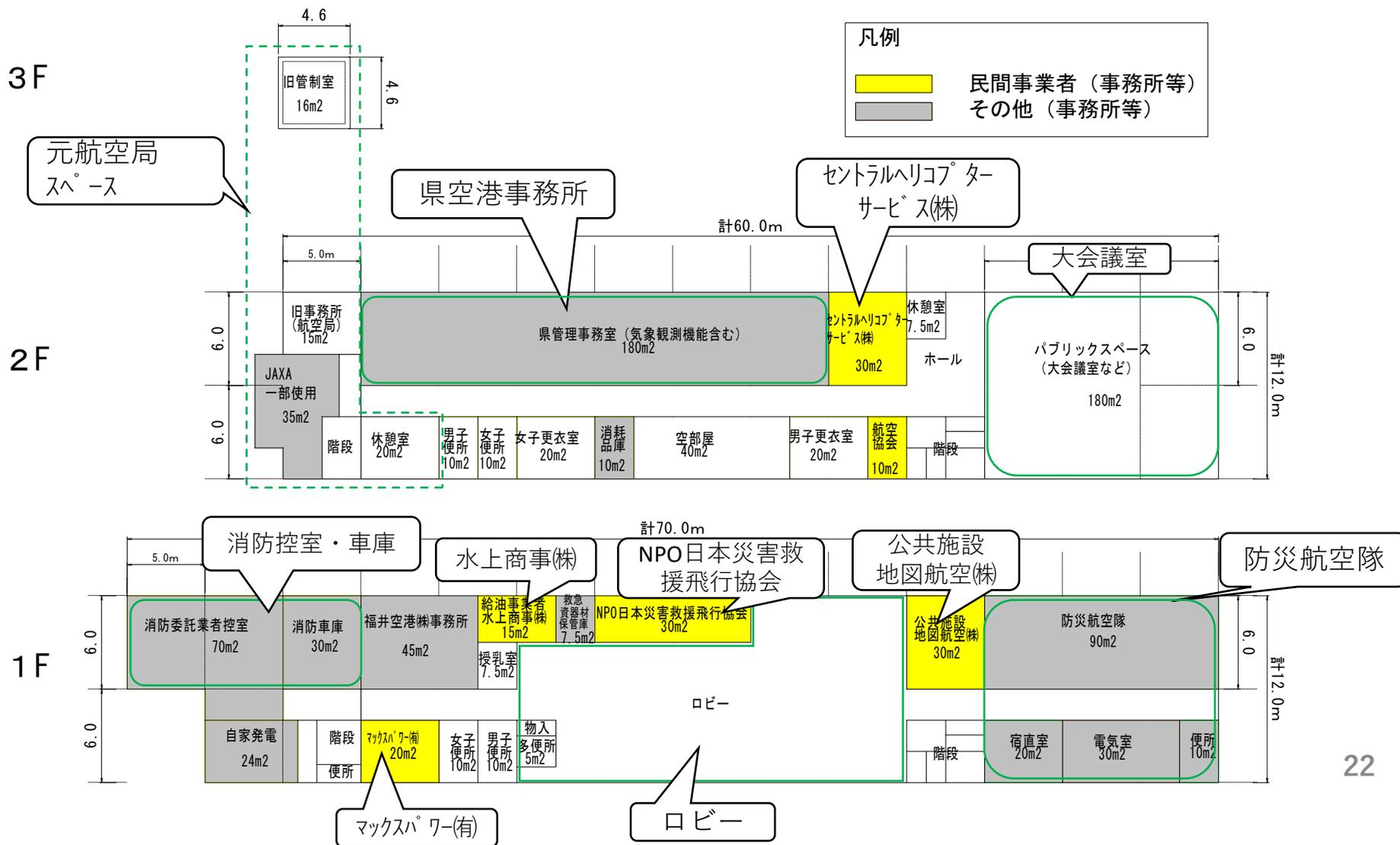
議題4

空港ビルの機能について

4.1

空港ビルの現在の施設状況

現況施設入居状況は以下の通り。



4.2

空港ビルの例

【第2回委員会資料（再掲）】

	事例 1 【管理機能のみ】	事例 2 【管理機能＋ターミナル機能】	事例 3 【管理機能】 ＋【ターミナル機能】＋【付加機能】
空港管理機能 (事務室・会議室等)	○	○	○
空港消防機能・給油機能・気象 観測機能(消防車庫・給油事 業・気象観測業務等)	○	○	○
旅客利用機能 (出到着ロビー・搭乗待合室・ バゲージクレーム、売店等)	－	○※	○※
空港関係事業者利用機能 (入居者スペース)	－	○	○
付加機能 (規模の大きい飲食・店舗、 多目的ホール等)	－	－	○
他空港の例			
	岡南飛行場	天草空港 (工事誌より)	県営名古屋空港

※使用しない時は地域交流機能として活用

4.3

空港ビルに対しての意見および対応方針

	委員会、関係機関等からの意見	対応方針（案）
利活用面	<ul style="list-style-type: none"> ・福井空港で離着陸可能な航空機でのチャーター便ができるとうい【再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客機のチャーターに対応可能なロビーの検討 ・ロビーについては、<u>平時はイベント利用</u> <u>災害時はDMATなどが活用</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・県民がにぎわう場になるとよい 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴のあるものを整備すべき (福井空港の特徴はグライダー利用。 小型機やプライベートジェットが使いやすい空港) 	<ul style="list-style-type: none"> ・プライベートジェット等の利用者に対応した待合・休憩スペースを検討 ・入居団体・機関の協力を得て、<u>航空分野への興味や防災意識の醸成につながる教室・体験会の実施や展示物を設置</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・富裕層の誘客には<u>プライバシーを保てる待合室</u>があるとよい 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・パイロット(小型機など)<u>が休む部屋</u>があるとよい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が楽しめる<u>展望エリア</u>を作るとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>展望エリアの設置</u>を検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェや飲食店がほしい ・周辺店舗から持ち込む方法もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>常設または仮設的に使えるスペース</u>を検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな入居希望者への対応(事務所など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>空港利用者等に聞き取りし、需要があれば検討</u>
防災面	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>個別に指揮所として使える会議室</u>がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>災害時に現地対策本部として利用可能な会議室の設置</u>を検討 (平常時は有料会議室としての貸出しも含めて検討)
	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>防災航空、警察、自衛隊等の関係機関が調整可能な会議室</u>が必要 (現ビルはコミュニティホールで対応可能) 	

4.4

第2回ワークショップの結果（速報）

▶「コンセプトと必要機能のアイデア整理」について、3グループ（A, B, C）に分かれて実施

「特別な空間」 (A班)	<ul style="list-style-type: none">●プライベートジェットで来られた方 人に会わずに航空機に搭乗、隔絶された特別なエリアで休憩●空港に宿泊できる施設を設置 朝から航空機の離陸が見られる体験
「防災機能と 先端技術」 (B班)	<ul style="list-style-type: none">●防災機能 屋根付き広場●先端技術 ドローン、JAXA、自動運転など●遊び場 カフェなど●フライト情報の発信 SNSの利用
「集客」 (C班)	<ul style="list-style-type: none">●子供向け 遊び場（遊具）、土産物 （コンセプトはエンゼルランドと差別化）●大人向け 飲み屋●プライベートジェット利用者用の出入口●緑のテラスやエントランス●屋根がある屋外スペース（防災など有効活用）

今後のスケジュール

委員会・ワークショップスケジュール（令和6年度）

